

# 稲発酵粗飼料の給与で 日本短角種の肥育が良好に

## 《なぜ日本短角種に稲発酵粗飼料?》

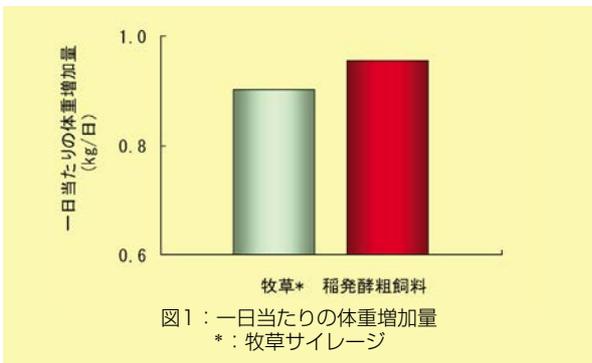
食料自給率を高めるために、国産飼料を活用する肉牛の飼養技術の確立が求められています。稲発酵粗飼料は、水田での栽培が容易な稲を飼料として利用する方法です。黒毛和種の肥育では脂肪交雑(さし)向上のために肥育中期にビタミンAを制限する飼養が広く行われており、ビタミンAの生成に関わる物質の含量が多い稲発酵粗飼料の多給は脂肪交雑に影響する可能性があります。しかし、日本短角種の肥育では仕上がり時の脂肪交雑がそれほど重要視されないため稲発酵粗飼料の良好な嗜好性によって増体や肉質を向上できる可能性があります。そこで稲発酵粗飼料を飽食させて肥育した日本短角種牛の体重の増加や牛肉の特徴を調べました。



飼料用稲収穫風景と稲発酵粗飼料

## 《稲発酵粗飼料を食べた日本短角種の成長は?》

全肥育期間を通して、飽食するまでの量の稲発酵粗飼料と一定量の濃厚飼料(体重の1.6%以内)を給与した牛の肥育期間中の一日当たりの体重増加は、飽食するまでの量の牧草サイレージと一定量の濃厚飼料(体重の1.6%以内)を給与した牛に比べて高くなりました(図1)。



## 《その肉の特徴は?》

稲発酵粗飼料を飽食するまで給与した牛では、牧草サイレージを給与した牛に比べて肉の柔らかさを高める粗脂肪含量が高くなりました(図2)。また、抗酸化作用を発揮する $\alpha$ -トコフェロールの含量も牧草を給与した牛に比べて多くなりました(図3)。その結果、保存中の肉色の褐色化が抑制さ

東北飼料イネ研究チーム

**押部 明德**

OSHIBE, Akinori



れました(図4)。今後、稲発酵粗飼料の生産コストをさらに低減する必要がありますが、稲発酵粗飼料は日本短角種の肥育においてメリットのある粗飼料であることが明らかにされました。なお、この研究は畜産草地研究所および大阪府立食とみどりの総合技術センターと共同で実施しました。

